

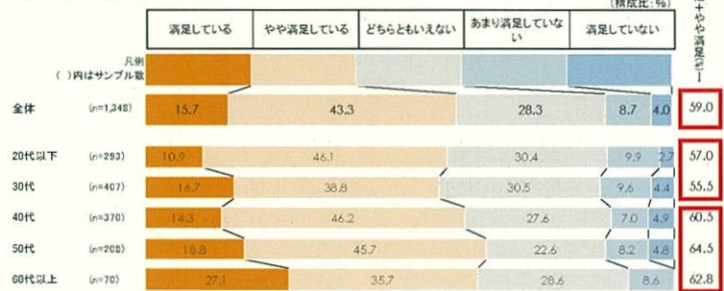
保育士の仕事に対する意識

保育士
アンケート

保育士の仕事に対する満足度や、保育士の継続意向は？

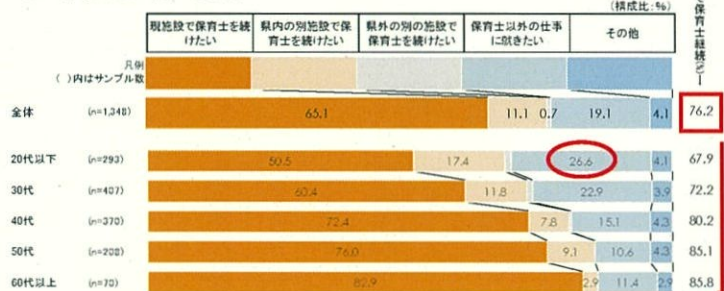
- 保育士の仕事に満足と答えている人は6割でした。
- 若い年代の保育士のほうが、やや満足度が低くなっています。

■ 現職の満足度 (単一回答)



- 県内で保育士の仕事の継続意向は、8割弱でした。
- 若い年代の保育士ほど、離職の意向が高くなっています。

■ 現職の継続意向 (単一回答)



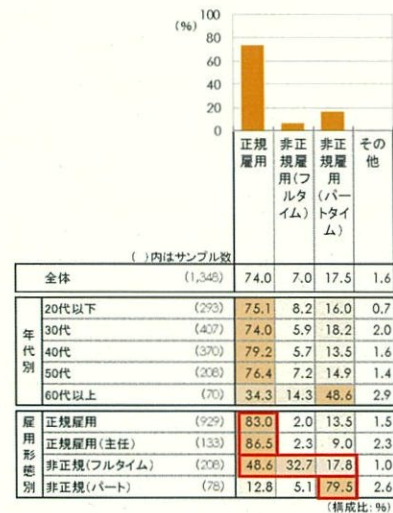
保育士の仕事に対する意識

保育士
アンケート

今後希望する雇用形態は？

- 現在、正規雇用の方のうち8~9割が、今後も正規雇用を望んでいます。
- 一方、現在、非正規・フルタイムの方は、正規雇用希望が半数あり、現在の雇用形態と希望する雇用形態にギャップがあります。
- 施設アンケートでは、採用数が多いのは非正規・フルタイムでしたが、働く人の側からすると、非正規・フルタイムの希望は少なく、施設側とのギャップがあります。

■ 今後希望する雇用形態 (単一回答)



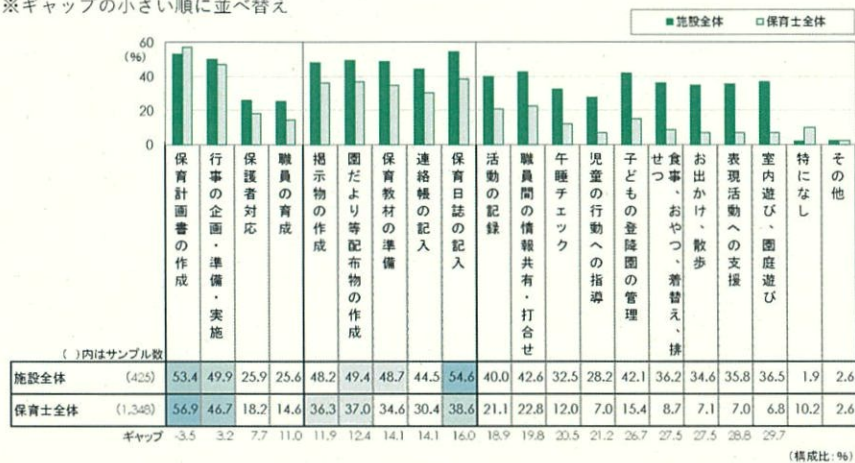
働きやすい環境づくりの取組について 施設 アンケート & 保育士 アンケート

工夫によって
軽減できそう
な業務は？

- 「保育計画書の作成」「行事の企画・準備・実施」は、軽減できそうです。
- 「園だより」「連絡帳の記入」「保育日誌の記入」など書類系の業務は、保育士は施設長ほどできるとは思っていませんが、軽減できそうです。
- 「活動の記録」「職員間の情報共有」や「午睡チェック」等保育そのものの業務は、施設長が思うほど保育士は軽減できるとは思っていません。

■ 園の工夫によって負担を軽減できそうな業務（複数回答）

※ギャップの小さい順に並べ替え



16

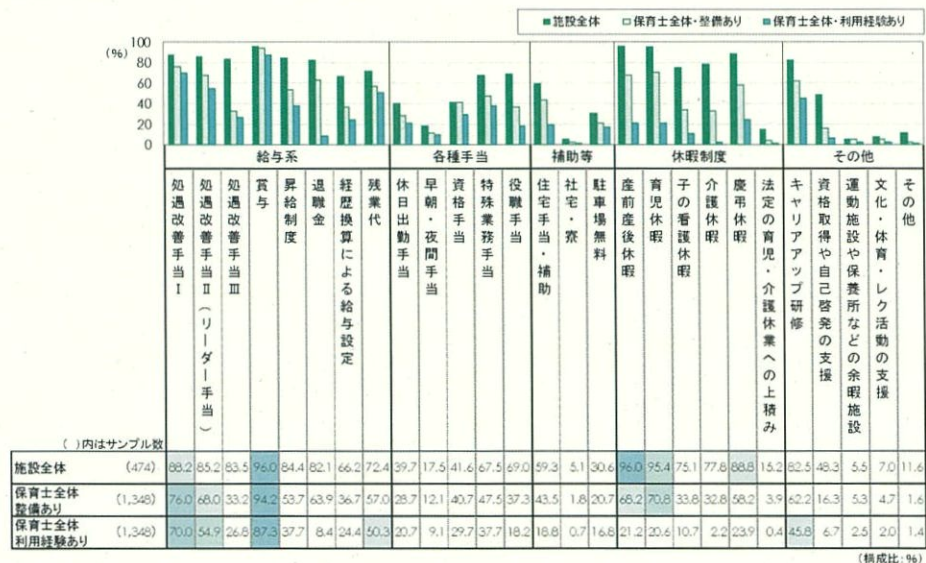
働きやすい環境づくりの取組について 施設 アンケート & 保育士 アンケート

制度や手当の
整備状況は？

- 施設は整備しているのに、保育士に伝わっていない制度が多そうです。
- 看護休暇、介護休暇は8割弱の施設で整備しています。

■ 整備している手当・制度・福利厚生、利用したことがある手当・制度・福利厚生（複数回答）

※施設の回答について、無回答を除いた割合とした



17

働きやすい環境づくりの取組について 施設アンケート & 保育士アンケート

働きやすい環境づくりのためにおこなっている取組は？

- 「職場のなごやかな雰囲気づくり」「休暇を取得しやすい環境整備」「パソコンやタブレット等の活用」に取り組んでいる施設が多いです。
- 施設では取り組んでいるとしても、保育士に伝わっていない取組がありそうです。

■現在取り組んでいること（複数回答） ※無回答除く ※施設の回答割合の高い順に並べ替え



18

働きやすい環境づくりの取組について 施設アンケート & 保育士アンケート

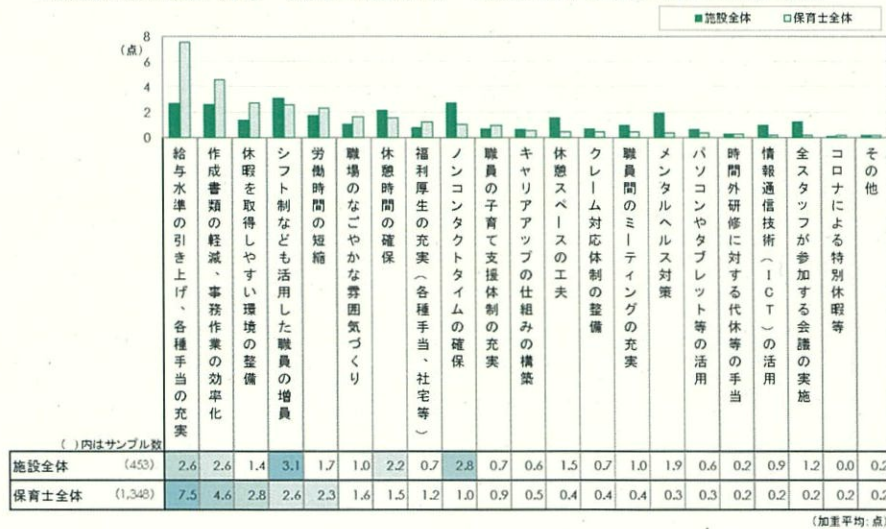
優先順位の高い取組は？

- 保育士は「給与」が最優先事項
- 施設の優先度1位は「職員の増員」

■優先度の高い取組（1位～5位まで加重平均） ※保育士の回答割合の高い順に並べ替え

※以下の基準で配点し、得点(加重平均)を算出

- 1位=10点
- 2位=8点
- 3位=6点
- 4位=4点
- 5位=2点



19

2. 事例紹介

園の取組 離職率の低い施設にヒアリング

施設
ヒアリング

●A園(私立保育所、入所規模:30~60人)

人材の状況	<ul style="list-style-type: none"> • 今はおおむね充足している • 就職希望者の問合せが多く、求人は公開していない
保育士の勤務環境	<ul style="list-style-type: none"> • 休暇は本人の希望をもとに1か月前に調整している • 職員もおおむね満足している • 保育士も家族の一員とっており、個人的な相談も積極的に受けるようにしている。気軽に話せることが働きやすさにつながっている
好評な取組	<ul style="list-style-type: none"> • 新任保育士を、海での体験を伴う1週間の外部研修に派遣している • お互いに助け合うことで達成できるプログラムで、園のチームビルディングにも役立っている
その取組の背景や効果	<ul style="list-style-type: none"> • 職員自身がとてもいい表情で帰ってくる • 自分が当たり前と信じている考えと、ほかの人の考えが違うことを実感し、互いに共有することを学んでくる。職員会議や子どもたちへの接し方において、相手を尊重するコミュニケーションができるようになる

21

園の取組 離職率の低い施設にヒアリング

施設
ヒアリング

●B園(私立保育所、入所規模:90~120人)

人材の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年2名採用、次年度4名採用予定。今年度久しぶりに2名離職 ・紹介会社を活用しないと確保が難しい状況
保育士の勤務環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ希望通りに休暇を取れている。夏休みは法定+3日付与。週休2日の希望はあるがハードルが高く、休暇は月に6日くらい ・年功序列ではなく能力制で、賞与や昇格を決めている。各々に合った働き方が選べて好評。職員とメリットデメリットを話し合って導入
好評な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職による人材育成会議を実施、新人の状況を共有。運営会議ではクラス運営について話し合い。「気になる子会議」もある ・園長、副園長が毎日現場を回る。話のタネになり、現場から乖離しないようにしている
その取組の背景や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ボトムアップの空気が強く、常にたくさんの提案や要望が上がる ・新人からの提案も、否定せずに試してみることで、自身で気づける ・勤めて3~5年目にくじけることが多いため、自分でやり遂げる充実感や、活躍する場所を作っていきたい

22

園の取組 離職率の低い施設にヒアリング

施設
ヒアリング

●C園(小規模保育事業所)

人材の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナやインフルで職員の休みが出た場合の人員補充に苦労した ・常に配置基準を満たしているが、それ以上必要と考えている
保育士の勤務環境	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の保育士には、休みやすい環境になっている ・今年は5~7日間の長期休暇を導入してみた。年休を余らせがちなのでその対策。世代の異なる職員が常に話し合っ、働きやすさを追求
好評な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てが一段落した保育士をリーダー保育士として配置。任命ではなく話し合いで決めた。園長に話しづらいことを言いやすい環境 ・当初は独自の取組だったが、今は補助金をリーダー手当に充当 ・大型園同様の行事をやるべきという固定観念があったが、0~2歳児ならではのありかたを模索し、最適化をして負担を減らしている
その取組の背景や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーが課題を認識し、リーダー同士で対策を考えて、園長に相談にくる流れができている。まずはやってみることにしている ・子育て中の休む時期はある程度決まっているので、先を見ずして肯定的に気遣う。助け合う空気の醸成が保育の質にもつながっている ・ともに模索している中で、やりがいを感じている様子

23

保育士さんの働き方

保育士
インタビュー

●Aさん(30代、公立認定こども園、5歳児担当)

働き方	<ul style="list-style-type: none"> 7:30より前から17:00まで、約10時間働いている 児童が帰った後事務仕事。保育と事務の仕事の時間は6:4くらい やることが多くてかなり大変
給与や待遇	<ul style="list-style-type: none"> 0-2歳児は、命にかかわる責任があり、看護や医療従事者並み 3-5歳児は、教育につなげる責任があり、小学校の先生並みの力が求められる、それに見合った給与だといいい
保育士の仕事	<ul style="list-style-type: none"> 20代のときは辛かったけど、経験を積んで、仕事ができるようになってきて嬉しさもある。経験を積んで見える景色もある 仕事の量と時間を考えると、これからも続けたいか半々
好評な取組	<ul style="list-style-type: none"> 休憩代替保育士が入ってくれるのは助かっている 短い時間で働きたい人もいる。色々な働き方ができるといい 会議の場で意見を言うようにしている。言える雰囲気が出てきた 雑談を増やして、職員室に笑いが起きるような、楽しい雰囲気づくりをしている

24

保育士さんの働き方

保育士
インタビュー

●Bさん(30代、小規模保育園、主任)

働き方	<ul style="list-style-type: none"> 9:30-18:30勤務、残業はなし 事務の日をつくり8時間事務。足りないときは持ち帰って2~3時間 有休は3分の1くらい取れている。休まない分が給与になるといい
給与や待遇	<ul style="list-style-type: none"> 仕事内容や責任に対して、給与が見合っていないと感じる 今も将来も収入面が不安。生活するために、転職も考えてしまう 給与が低くても、家賃補助など手当がつけば安心できる
保育士の仕事	<ul style="list-style-type: none"> やりがいがある。子どもと関わる仕事をずっと続けたい 保育士がもっといれば楽になる
好評な取組	<ul style="list-style-type: none"> フリー保育士の配置は日々ではなく、月で決めている。フリーの先生も見通しがあつたほうが働きやすい 週1お便り帳なしの日をつくり、その日をミーティングにあてている。職員のコミュニケーションの時間にもなり、一石二鳥 年2~3回、園長と個人面談がある。園内研修の題材にしている。信頼しあえる関係が大事で、それには話す・聴くが一番

25

保育士さんの働き方

保育士
インタビュー

●Cさん(30代、私立認定こども園、パート)

働き方	<ul style="list-style-type: none"> ・2人目が生まれるまでは9:00-18:00勤務 ・生まれてからは、1日6時間のパート勤務。希望通り。 ・書類関係は負担に感じる。月案・週案、日誌、支援計画・支援日誌など。児童と離れる時間がないので、園では書類作成時間をとれない。持ち帰っても、自分の子どもがいるため難しい。 ・ノンコンタクトタイムが欲しいが、職員数がギリギリなので難しい。
給与や待遇	<ul style="list-style-type: none"> ・「子の命を守る」という職務に対して給与が低いと感じる。 ・支援児の加配につくことになったが、給与は変わらないのがやや不満。
保育士の仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・今の仕事は満足しているし、楽しいし、子どもたちはかわいい。 ・しかし給与と業務内容のアンバランスから、他の仕事も検討したい。
好評な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの職員に恵まれている。みんな人柄がよく、園長や主任も相談しやすい。 ・主任を2年の交代制にしている。管理職・現場職どちらも理解することができるようになり、職場の関係性がよくなる。

26

保育士さんの働き方

保育士
インタビュー

●Dさん(40代、私立保育所、主任)

働き方	<ul style="list-style-type: none"> ・8時間勤務。自分の子どもはもう大きいので、育休明け職員のカバーに入る ・ICT化に取り組んでいるが、まだ持ち帰りがあり、改善の余地はある。
給与や待遇	<ul style="list-style-type: none"> ・給与が低くても、使命感で働き続けている保育士が多いと思う。 ・保育士の仕事はオールマイティな仕事。それに見合った給与が重要。 ・処遇改善で給与は上がったが、業務に対しては足りないと感じる。
保育士の仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事は満足している。子どもの成長をみるとやりがいを感じる。 ・自身の生活を考えると、給与面から他の仕事も考える時はある。
好評な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・バースデー休暇により、1日は必ず有休消化。50%→80%に改善。 ・クラスに1台PC/タブレットを配置。連絡帳記入や登降園管理が楽になった。 ・主任は担任をもたないが、なるべく保育室を回るようにしている。保育士の話や子供の様子を聞く・見るように心がけ、風通しがよくなるようにしている。

27

保育士さんの働き方

保育士
インタビュー

●Eさん(40代、私立保育所、0歳児担当)

働き方	<ul style="list-style-type: none"> ・現在2歳の子どもがいて8時～15時までの7時間勤務をしている。 ・現施設では自分が初めての短時間勤務。希望通り。 ・短時間勤務が終わったら、フルタイムに戻れるか心配。 ・書類作成などやることがたくさんある中で、トイレ掃除などが負担。 ・コドモンで効率化したが、PC支給がないため、職員自身のスマホを利用しており、子どもの横でスマホをいじるのがよくない
給与や待遇	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間勤務のこともあり、給与は低い ・休憩もなく、ずっと気を張った状態で、勤務後はかなり疲れる ・職員の増員が必要。気兼ねなく休みを取れるようになりたい
保育士の仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事は満足している。子どもたちから幸せを分けてもらっている ・子どもが好きでも書類作成が苦手で、退職してしまう若い保育士もいる。うまく業務を分担できるといい
好評な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の作り方を工夫して休憩を取れるようにした。午睡の1時間に1人抜けて書類作成に集中し、その後1時間休憩を取る形

28

ご協力ありがとうございました